

広川町における子育てに関する  
アンケート調査結果報告書

令和6年5月

広川町 子育て支援プロジェクトチーム

## ■調査対象

広川町に在園・在学する園児・児童・生徒の保護者及び広川町に関係する子育て世帯の方

## ■調査方法

回答用紙の配布及び回収、WEBによる回答

## ■調査期間

令和5年7月上旬配布、9月30日を返信期限として回収

## ■回答状況

有効回答数236件 想定保護者数516件(回答率45.73%)

## ■調査項目

- 1.子育てをしていて、負担もしくは困っていること
- 2.行政からの支援の形
- 3.子育てに関することで広川町に支援(実現)してほしいこと【自由記入】
- 4.広川町で子育てがしやすいと感じること、魅力を感じていること【自由記入】
- 5.広川町の支援制度の内容について知っているか

## ■調査結果の見方

比率は有効回答数に対して百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。回答の状況により百分率の合計が100.0%にならないことがあります。



## 子育てに関するアンケート

平素は町行政にご協力いただきありがとうございます。

先日は子育て世帯を対象に配布しましたアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

前回のアンケートについては、8月4日までとさせていただいておりましたが、アンケートの回答率が低く、回答期間を延長することにしました。つきましては、まだアンケートにご回答いただけていない方については、ご協力のほどよろしくお願いたします。

このアンケートについては、今後の町の子育て施策として重要かつ貴重な意見となりますので、ぜひ子育て世帯の皆様方のお声をお聞かせください。アンケートの内容については、前回と変わりはありません。

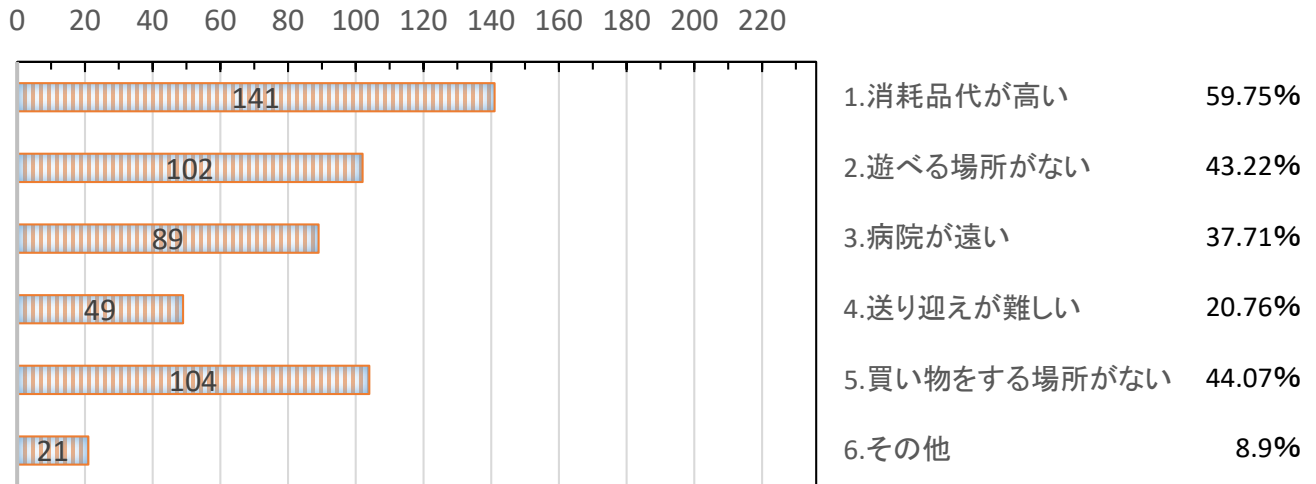
回答の〆切りは9月30日(土)までです。 広川町 子育て支援プロジェクトチーム Tel.0737-23-7795(教育委員会)

\* 必須の質問です

### 質問①\*

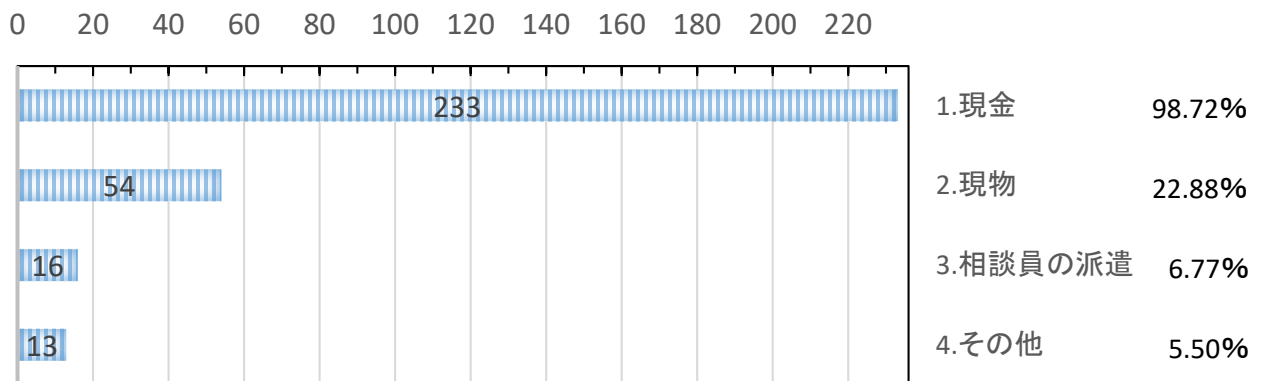
子育てをしていて、負担もしくは困っていることはどんなことですか？(複数選択可)  
その他がある場合、記入して下さい。

質問①では子育てをしていて、負担もしくは困っていることはどんなことがあるかを複数選択可として質問をしました。



子育てしていく中で日常的に使用する消耗品代に対して約6割の方が負担になっているとの回答がありました。続いて買い物をする場所や遊べる場所などの施設面に対して負担となっている結果となりました。また、その他の意見として、頼れる人がないため負担になっている、休日急患に頼れる病院が近くにないなどの回答がありました。

質問②では行政からの支援の形で希望しているものはどんなものかを複数選択可として質問をしました。



行政からの支援の形ではそのほとんどの方が現金での支給を希望する回答となりましたが、現金ではなく現物やポイントでの支給、その他には学校などで購入できるような体制を希望する声がありました。また、その他の意見として教育に必要な物の無償化についても回答がありました。

質問③では子育てに関することで広川町に支援(実現)してほしいことを自由記述として質問をしました。

回答をいただいた内容では

- ・子ども食堂
  - ・水泳教室の設置
  - ・ファミサポの設置
  - ・家賃補助
  - ・運動公園の整備や室内で遊べる公園の設置
  - ・高校や大学の授業料補助
  - ・一時預かりの無償化
  - ・中学校の合併
  - ・行事やイベントなどの充実や継続
- などの回答がありました。



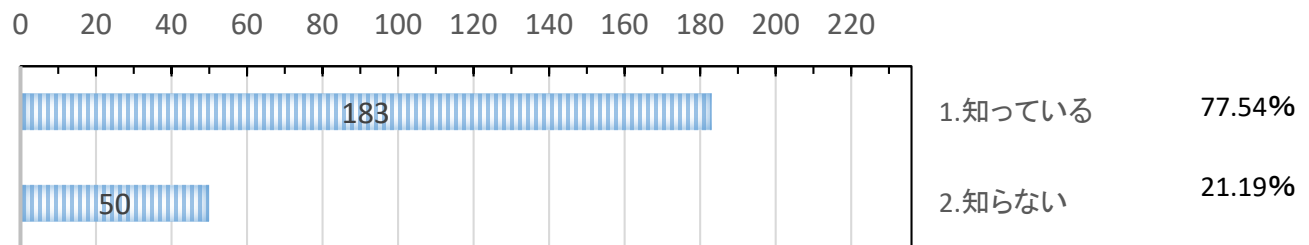
質問④では広川町で子育てがしやすいと感じること、魅力を感じていることを自由記述として質問をしました。

回答をいただいた内容では

- ・自然が豊か
  - ・子どもの手当などが充実している
  - ・保育料の完全無償化
  - ・子ども医療費がかからないこと
  - ・学校教育環境が良いところ
  - ・都会と違って危険な事が少ない
  - ・中学校の給食費が無償になったこと
  - ・子供が少ない分、先生が目が行き届いている
  - ・保育園の待機児童がない
- などの回答がありました。



質問⑤では広川町の支援制度について知っているか、知らないかを選択式で回答をいただきました。



支援制度を知っている方が約8割に対して、知らない方が約2割という結果となりました。「知らない」と回答した方には、「どのような方法であれば支援内容を知ることができますか？」と追加質問をしたところ

- ・パンフレットの配布
  - ・学校からのお便り
  - ・検診時での説明
  - ・携帯への通知
- などの回答がありました。



#### <子育て支援プロジェクトチームについて>

全国的に出生率の低下が続いている中、本町では出生率の向上を目的に、スピード感を持ってより良い子育て施策につなげられるよう、10名のメンバーが招集され、令和5年3月1日より子育て支援プロジェクトチームが発足しました。

発足してから11回会議を開催し、各メンバーの意見や子育て世帯の皆様からいただいたご意見をもとに、出産祝い事業、育児用品購入補助事業、入学祝い金事業、子育て世帯賃貸住宅家賃補助事業、結婚新生活支援事業等の補助面だけではなく、子どもが遊べる室内施設、公園等の建設面、そして広川町の支援制度を今以上に多くの方々に知っていただけるよう情報発信事業といった施策が実施できないか検討してまいりました。

昨年12月には、子育て支援プロジェクトチームとして精査した施策を町長へ提案・説明を行い、議論を行いました。議論の中では町長より義務教育9年間における給食費無償化は、子育て世帯の負担軽減に繋がるとの発言がありました。

子育て世帯の皆様からいただいたご意見により、新たに子育て施策として令和6年度より入学祝い金事業、給食費の無償化を実現することができました。

微力ではございますが、今後も子育てしやすい町を目指してチームで考えてまいります。